

サティス洗面器

	給排水タイプ	壁給水								
		壁排水		床排水		壁排水		床排水		
		Pトラップ	ボトムトラップ	Sトラップ	ボトムトラップ	Pトラップ	ボトムトラップ	Sトラップ	ボトムトラップ	
シングルレバー 混合水栓	一般 専用	メタルバー 無し	YL-A543SY(C)/V YL-A555SY(C)/V YL-A557LSY(C)/V YL-A558SC(C)/V	YL-A543SYG(C)/V YL-A555SYG(C)/V YL-A557LSYG(C)/V YL-A558SYG(C)/V	YL-A543SYA(C)/V YL-A555SYA(C)/V YL-A557LSYA(C)/V YL-A558SYA(C)/V	YL-A543SYP(C)/V YL-A555SYP(C)/V YL-A557LSYP(C)/V YL-A558SYP(C)/V	YL-A543SYD(C)/V YL-A555SYD(C)/V YL-A557LSYD(C)/V YL-A558SYD(C)/V	YL-A543SYH(C)/V YL-A555SYH(C)/V YL-A557LSYH(C)/V YL-A558SYH(C)/V	YL-A543SYB(C)/V YL-A555SYB(C)/V YL-A557LSYB(C)/V YL-A558SYB(C)/V	YL-A543SYQ(C)/V YL-A555SYQ(C)/V YL-A557LSYQ(C)/V YL-A558SYQ(C)/V
	メタルバー 仕様	YL-D556YSY(C)/C YL-D557LSY(C)/C YL-D558YSY(C)/C	YL-D556YSYG(C)/C YL-D557LSYYG(C)/C YL-D558YSYG(C)/C	YL-D556YSYA(C)/C YL-D557LSYA(C)/C YL-D558YSYA(C)/C	YL-D556YSYP(C)/C YL-D557LSYP(C)/C YL-D558YSYP(C)/C	YL-D556YSYD(C)/C YL-D557LSYD(C)/C YL-D558YSYD(C)/C	YL-D556YSYH(C)/C YL-D557LSYH(C)/C YL-D558YSYH(C)/C	YL-D556YSYB(C)/C YL-D557LSYB(C)/C YL-D558YSYB(C)/C	YL-D556YSYQ(C)/C YL-D557LSYQ(C)/C YL-D558YSYQ(C)/C	
シングルレバー 単水栓	一般 専用	メタルバー 無し	YL-A543T(C)/V YL-A555T(C)/V YL-A557LT(C)/V YL-A558T(C)/V	YL-A543TG(C)/V YL-A555TG(C)/V YL-A557LTG(C)/V YL-A558TG(C)/V	YL-A543TA(C)/V YL-A555TA(C)/V YL-A557LTA(C)/V YL-A558TA(C)/V	YL-A543TP(C)/V YL-A555TP(C)/V YL-A557LTP(C)/V YL-A558TP(C)/V	YL-A543TD(C)/V YL-A555TD(C)/V YL-A557LTD(C)/V YL-A558TD(C)/V	YL-A543TH(C)/V YL-A555TH(C)/V YL-A557LTH(C)/V YL-A558TH(C)/V	YL-A543TB(C)/V YL-A555TB(C)/V YL-A557LTB(C)/V YL-A558TB(C)/V	YL-A543TQ(C)/V YL-A555TQ(C)/V YL-A557LTQ(C)/V YL-A558TQ(C)/V
	メタルバー 仕様	YL-D555YT(C)/C YL-D557LYT(C)/C YL-D558YT(C)/C	YL-D555YTG(C)/C YL-D557LYTG(C)/C YL-D558YTG(C)/C	YL-D555YTA(C)/C YL-D557LYTA(C)/C YL-D558YTA(C)/C	YL-D555YTP(C)/C YL-D557LYTP(C)/C YL-D558YTP(C)/C	YL-D555YTD(C)/C YL-D557LYTD(C)/C YL-D558YTD(C)/C	YL-D555YTH(C)/C YL-D557LYTH(C)/C YL-D558YTH(C)/C	YL-D555YTB(C)/C YL-D557LYTB(C)/C YL-D558YTB(C)/C	YL-D555YTQ(C)/C YL-D557LYTQ(C)/C YL-D558YTQ(C)/C	
シングルレバー 混合水栓 (排水口引出式)	一般 専用	メタルバー 無し	YL-A558FY(C)/V YL-A558FYD(C)/V	YL-A558FYG(C)/V YL-A558FYD(C)/V	YL-A558FYA(C)/V YL-A558FYA(C)/V	YL-A558FY(C)/V YL-A558FY(C)/V	YL-A558FYD(C)/V YL-A558FYD(C)/V	YL-A558FYH(C)/V YL-A558FYH(C)/V	YL-A558FYB(C)/V YL-A558FYB(C)/V	YL-A558FYQ(C)/V YL-A558FYQ(C)/V

- ※掲載品番は代表品番になります。
- ※品番末尾に「V」が付くタイプはカウンタータイプになります。
- ※(C)は排水口カバー付きとなります。
- ※Nは寒冷地仕様となります。
- ※Yはメタルバー仕様となります。

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しく下さい。

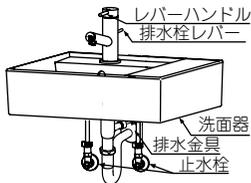
もくじ

各部の名称	1
特長	1
安全上のご注意	2
ご使用方法	7
ご使用上の注意	8
凍結の恐れがある場合	9
お手入れ	10
定期的な部品交換のお願い	13
修理を依頼される前に	14
希望の温度が得られないとき	15
アフターサービスについて	16
保証書	裏表紙

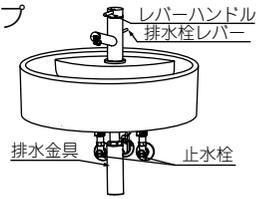
●各部の名称

■シングルレバー混合水栓

555タイプ
557Lタイプ
558タイプ

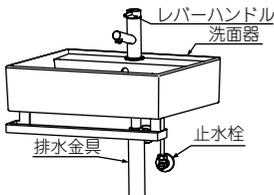


543タイプ

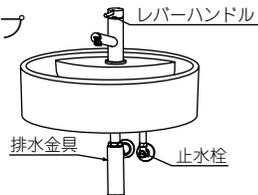


■シングルレバー単水栓

555タイプ
557Lタイプ
558タイプ



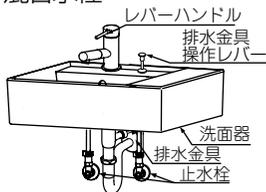
543タイプ



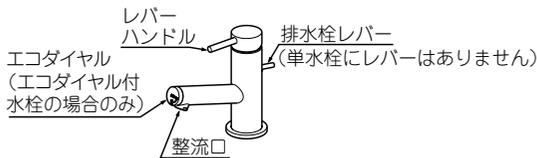
■シングルレバー混合水栓

(吐水口引出式)

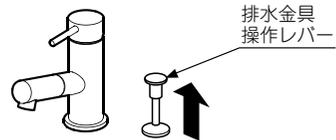
555タイプ
557Lタイプ
558タイプ



[シングルレバー混合水栓、シングルレバー単水栓の場合]



[シングルレバー混合水栓(吐水口引出式)の場合]



※ご使用いただく水栓は上記イラストと外観が異なる場合があります。

※寒冷地用は「凍結の恐れがある場合」の項を参照ください。

●特長

- レバーハンドルひとつで吐出量と温度(混合水栓)が簡単に調節でき、節水効果があります。(シングルレバー混合水栓)
- エコダイヤル操作であらかじめ適量調節ができます。レバーハンドルを上げて出し過ぎることがなく、最大約50%節水できます。
※エコダイヤル付水栓の場合のみ
- バルブはセラミックを使用し、優れた耐久性があります。
- レバーハンドルが使い易い正面位置にあるとき水になるので、無意識での湯の使用や無駄な給湯器の着火を抑制できます。(シングルレバー混合水栓の場合)

●安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



…… 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）



…… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



…… 「分解してはいけません！」



…… 「指示した場所には触れてはいけません！」



…… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

警告：ヤケドをしないために



(禁止)

小さいお子さまだけの使用は避けてください。
※ヤケドやケガをする恐れがあります。



(禁止)

他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。
※同時使用のないように注意しないと、ヤケドをする恐れがあります。

⚠ 警告：ヤケドをしないために

 (禁止)	修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ヤケドをする恐れがあります。
 (禁止)	水栓の左側は給湯側のため高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。
 (禁止)	高温の湯をお使いのときには、吐水口やエコダイヤル付近は高温になっています。直接、肌を触れたり、エコダイヤルを操作しないようにしてください。(エコダイヤル付水栓の場合のみです。) ※ヤケドをする恐れがあります。
 (禁止)	給湯温度は最高85℃以上で使用しないでください。 ※85℃より高温でご使用になると器具の寿命が短くなり、破損して、ヤケドをする恐れがあります。 なお、安全のため60℃給湯をおすすめします。
 (指示)	お湯をお使いになるときは、必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。 ※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。
 (指示)	エコダイヤルを操作した後にお好みの温度調節を行ってください。 ※温度調節をした後にエコダイヤルを操作すると吐出温度が変わりヤケドをする恐れがあります。(エコダイヤル付水栓の場合のみです。)
 (指示)	お使いになる前に、必ず適温であることを確かめてください。 ※高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。
 (指示)	高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、しばらく水を流してください。 ※次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。 ※次の使用者が誤って高温の吐水口に触り、ヤケドをする恐れがあります。
 (指示)	定期的に、配管の漏水やガタつきがないか確認してください。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

⚠ 警告：ヤケドをしないために

 (指示)	<p>給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。 ※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。</p>
 (禁止)	<p>【寒冷地用の場合】 水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。 ※水抜栓をいきなり開けると高温の湯が吐出し、ヤケドをしたり、湯水がふき出して、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>

⚠ 注意：正しくお使いいただくために

 (禁止)	<p>製品に強い力や衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損や漏水の原因となります。</p>
 (禁止)	<p>吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけたりしないでください。 ※摩耗・変形などで部品の寿命が短くなり、漏水の原因となります。</p>
 (禁止)	<p>カウンターや洗面器の上に乗ったり重いものを乗せたりしないでください。 ※変形や破損してケガをする恐れがあります。</p>
 (禁止)	<p>洗面器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。 ※破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。</p>
 (禁止)	<p>商品が破損したり、ガタついたり、あるいは取り付けがゆるんだ状態でのご使用はしないでください。すぐにお取り替えや修理依頼してください。 ※落下の恐れや破損部位でケガをする恐れがあります。</p>
 (禁止)	<p>ぶら下がったり、体重を掛けたりしないでください。 ※破損し、ケガをする恐れがあります。</p>
 (禁止)	<p>洗面器に熱湯等をかけないでください。 ※破損の恐れがあります。</p>
 (指示)	<p>陶器は割れ物です。 ●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。 ●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。 ※破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。</p>
 (指示)	<p>ご使用中はその場を離れないでください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>

⚠ 注意：正しくお使いいただくために

 (禁止)	陶器のお手入れには次の洗剤を使用しないでください。 ・強いアルカリ性洗剤、フッ素系洗剤、研磨剤入りの洗剤 ※陶器表面を傷つけてしまいます。 ・撥水作用や表面コート作用のある洗剤、お掃除道具 ※陶器表面を成分が覆ってしまい防汚性能が発揮できなくなります。
 (指示)	レバーハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、お止めください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 (指示)	レバーハンドルを操作するときは、ゆっくり動かしてください。 ※急に操作すると音が出たり、吐出温度が急に変わります。 ※急な操作を行うと、洗面器の外へ水が飛び出る恐れがあります。
 (禁止)	吐水口部引出し口に直接水をかけないでください。 ※水がキャビネット内に侵入し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 (指示)	メッキ面のハガレはそのまま放置しないでください。 ※メッキ面のハガレやキズでケガをする恐れがあります。

⚠ 注意：凍結防止のために

 (禁止)	凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。（寒冷地使用の場合は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。） ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 (禁止)	【寒冷地用の場合】 凍結時に解氷機をご使用の際は、水栓本体部には絶対に通電しないでください。 ※発熱により水栓が破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 (禁止)	【寒冷地用の場合】 水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。 ※水抜き栓をいきなり開けると高温の湯が吐出し、ヤケドをしたり、湯水がふき出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意：凍結防止のために



(指示)

【寒冷地用の場合】

凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜操作を同時に行ってください。(P.9参照)

※凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。

【一般地の場合】

凍結の恐れがあるときは、凍結予防の措置を行ってください。

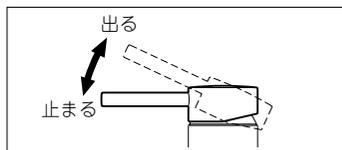
※変形したり、故障して漏水の原因となります。

●ご使用方法

●吐出量の調節

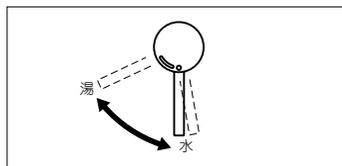
レバーハンドルを上げると吐出し、上げ具合で吐出量を調節できます。

レバーハンドルはどの位置でも下げると止水します。



●温度の調節 [シングルレバー混合水栓の場合]

レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へ回すと吐水温度が上がります。



注意

●必ずレバーを持って操作してください。

※レバー以外をつかんで操作するとケガをする恐れがあります。

ポイント

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。



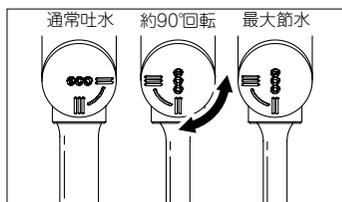
クリックより左側では湯が出ています。

●エコダイヤルの操作 (エコダイヤル付水栓の場合のみ)

エコダイヤルを通常の水状態から右方向に回すと吐出量が減り(節水)、左に回すと通常の吐出量になります。

※エコダイヤルの操作角度は約90°です。

※シングルレバー混合水栓(吐水口引出し式)にはエコダイヤルがありません。



●ホース引出長さの調節 [シングルレバー混合水栓(吐水口引出式)の場合]

●吐水口部は、最長300mmまで引き出せます。お好みの長さでご使用ください。

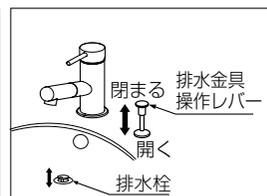
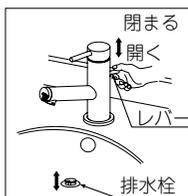
ポイント

- 吐水口部の出し入れがしにくいときは、シャワーホースに手をそえて収納する。
- 寒い時期、吐水口部の出し入れが固いときは、しばらくの間、ホースにお湯または水を通水する。



●排水栓の操作

- 排水栓を閉める場合は水栓後部のレバーを引いてください。
- 排水栓を開ける場合はレバーを押してください。



※イラストはエコダイヤル付水栓

●ご使用上の注意（エコダイヤルはエコダイヤル付水栓の場合のみです。）

●ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

- 比例制御式の給湯器の設定は温度調節を高温にしてください。
- 能力切替付の給湯器では能力を季節に合わせてご使用ください。
※レバーハンドルやエコダイヤルで吐出量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- 給水圧が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。
このときは給湯器の設定温度（能力切替付は能力）を少し下げてください。

●吐出量の調節

水圧が高いところで使用される場合は水側の止水栓を絞ってご使用ください。湯と水の吐出量がほぼ同じになるように水の量を絞ってください。

※吐出量が多いと、特にエコダイヤルで吐出量を絞った時に、レバーハンドルの吐出量調節がしにくい場合があります。

※止水栓の調節の仕方は、P.15を参照してください。

●水栓の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。



※ヤケドをする恐れがあります。

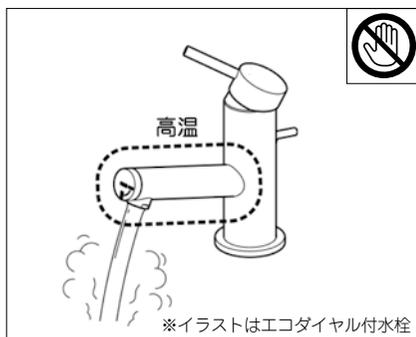
●お湯をお使いのときは、エコダイヤルを操作しないでください。

※湯温が上がり、ヤケドをする恐れがあります。



●高温の湯をお使いのときには、吐水口やエコダイヤル付近は高温になっています。直接、肌を触れたり、エコダイヤルを操作しないでください。

※ヤケドをする恐れがあります。



●凍結の恐れがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますので、ご注意ください。

●凍結予防のしかた

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

【一般地用をご使用の場合】

凍結が予想される場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合もあります。

●水栓から少量の水を流し放しにする。

●配管などに保温材を巻く。

【寒冷地用をご使用の場合】

【シングルレバー混合水栓、シングルレバー単水栓の場合】

凍結が予想される場合は、次の要領で水栓の水抜きをしてください。

1. 配管の水抜栓を操作する。
2. レバーハンドル①を上げる。
3. 水抜栓②を開ける。
4. レバーハンドル①を全開状態で数回水側から湯側まで回す。
5. エコダイヤル③を2～3回左右に回す。(エコダイヤル付水栓の場合のみ)
6. 水栓の水が抜けたら、レバーハンドル①を閉める。



※イラストはエコダイヤル付水栓

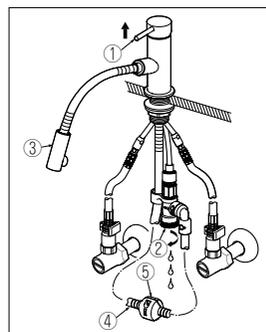
※開けたまま放置するとレバーハンドル①を閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず通水または自然解凍してください。

※再通水前には水抜栓②を閉めてください。

【シングルレバー混合水栓（吐水口引出式）の場合】

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1. 配管の水抜栓を操作する。
2. レバーハンドル①を上げる。
3. 水抜栓②を開ける。
4. レバーハンドル①を全開状態で数回、水側から湯側まで回す。
5. 吐水口部③を引き出し、振って水をよく切る。
6. ホース④を水抜栓②より上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。
7. 水栓の水が抜けたら、レバーハンドル①を閉める。



※開けたまま放置するとレバーハンドル①を閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず通水または自然解凍してください。

※水抜き完了後は忘れずに水抜栓②を閉めてください。

※ホースストッパー⑤を外した場合は、元の位置に取り付けてください。

●お手入れ（水栓金具）

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ふきし、最後にからふきしてください。
- 排水金具や水栓の表面、メタルバーの表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
 - クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
 - 酸性、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
 - ナイロンたわし、ブラシ等
 - シンナー、ベンジン、ラッカー、アルコール等の溶剤
- 壁面のタイルなどを酸洗いした場合は、タオルおよび水栓、メタルバーを十分水洗いしてください。
※商品を傷める恐れがあります。
- 整流金具は細かい網目となっているため、ゴミ等が詰まりやすいためときどき掃除してください。（下図を参照）
- 排水栓についているパッキンは消耗品です。水が漏れる等の不具合が発生しましたら、パッキンの交換をしてください。（品番：50-2311）
- ヘアキャッチャーは排水不良を起こす恐れがありますので、こまめに清掃してください。

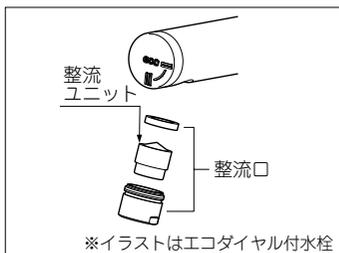
●整流口の掃除【シングルレバー混合水栓、シングルレバー単水栓の場合】

吐水口内部のゴミ詰まりは機能を低下させます。

ときどき次の要領で掃除してください。

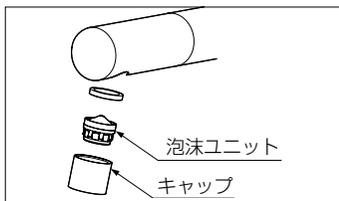
整流口を工具（スパナ（対辺17））で取り外し、整流ユニットを水で掃除してください。

※整流口の取外しは直接工具を掛けますと、整流口をキズつける場合があります。必ず、布などを当てて工具を掛けてください。



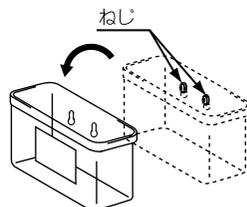
●吐水口部の掃除【シングルレバー混合水栓（吐水口引出式）の場合】

泡沫口の紛失を防ぐため、排水栓を閉じる、または、排水口を布等で覆った後、手で吐水口部のキャップを回して泡沫ユニットを取り外し、水で掃除してください。



●水受けタンクの点検【シングルレバー混合水栓(吐水口引出式)の場合】 (月1回程度)

カウンター・陶器の下またはキャビネット内の、水受けタンクを点検してください。
水受けタンクに水が落ちていればタンクを取り外し、拭き取ってください。
水を拭き取った後は水受けタンクを元通りにセットしてください。

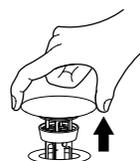


水受けタンク

●日常のお手入れ（排水口カバー）

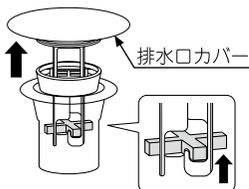
①日常のお手入れ

排水口などを清掃する際は、排水口カバーを上
に持ち上げてください。

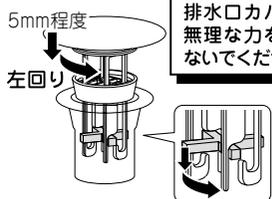


②取外して清掃する場合(単水栓の排水口カバー付の場合)

1 排水口カバーが
止まるまで
引き上げます。



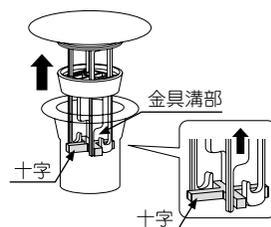
2 少しだけ下に戻し、
排水口カバーを左回
りにゆっくりと回転さ
せます。



△注意

排水口カバーに
無理な力を加え
ないでください。

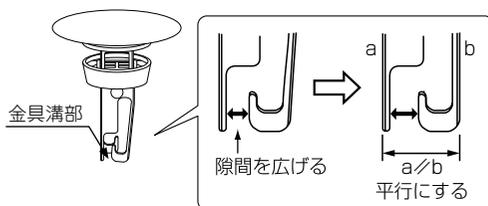
3 上に引き上げると、
金具溝部が排水金
具の十字から抜け
て外れます。



4 清掃後、上記取付け方法で排水口カバーを取付けてください。

◎万一外しにくくなった場合は？

ラジオペンチ等を使用して金具の溝を
広げてください。



●日常のお手入れ（洗面器）

品番の最初に「Y」がついている洗面器はアクアセラミック仕様です。
（例：YL-XXXX）

ハイパーセラミック使用の洗面器は「Y」はありません。（例：L-XXXX）
お掃除はアクアセラミック仕様同様のお手入れをしてください。

●アクアセラミック仕様の場合

アクアセラミックは親水性が高く、鉢面に付着した汚れが落ちやすいですが、お掃除が不要になるものではありません。陶器表面に汚れが残ってしまう場合があります。定期的なお掃除をお願いします。

●手洗器・洗面器のお手入れ

次の洗剤、道具は使用しないでください。

- ・強いアルカリ性の洗剤または漂白剤、フッ素系洗剤（フッ化水素、フッ化アンモニウムを含む）
※陶器表面が侵され、アクアセラミックの機能が損なわれます。
- ・金属製のブラシや研磨剤入りの洗剤、お掃除道具
※陶器表面が傷つき、アクアセラミックの機能が損なわれます。
- ・撥水作用や表面コート作用がある洗剤やお掃除道具
※成分に陶器表面が覆われてしまいアクアセラミックの効果が発揮できなくなります。



使用によって撥水してしまった場合は、メラミンスポンジや食器用中性洗剤で掃除することにより効果を復元できます。

●KILAMIC抗菌商品についての注意

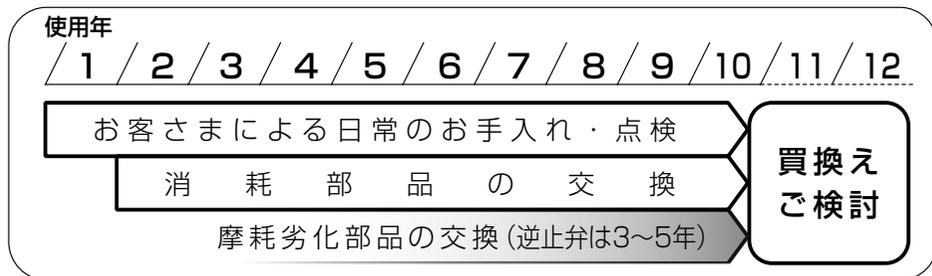
- KILAMIC抗菌商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては十分な抗菌効果を発揮できません。
- KILAMIC抗菌商品は菌の繁殖を抑制する効果を持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品により感染等が完全に防げるわけではありません。

●定期的な部品交換のお願い

●摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）
例）逆止弁、レバーハンドル、吐水口、シャワーホース、バルブ部（シングルレバーカートリッジ）、パッキンなど
- 部品の交換については、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

〈定期的な点検・部品交換のめやす〉



●修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

※確認箇所名称については「各部の名称」(P.1)を参照してください。

現象	確認内容	処置方法	参照ページ
吐水しない	止水栓は開いていますか？	止水栓を開く	－
	レバーハンドルは閉じていませんか？	レバーハンドルを開ける	P.7
	断水中ではありませんか？	回復するまで待つ	－
流量が少ない	流量の調節は適正ですか？	止水栓で流量を調節する	P.15
	整流口にゴミ等が付着していませんか？	整流口の掃除をする	P.10
	レバーハンドル絞りすぎていませんか？	レバーハンドルを開ける	P.7
	エコダイヤルが節水状態になっていませんか？(エコダイヤル付水栓の場合のみ)	エコダイヤルを通常吐水に設定する	P.7
	能力切替付の給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力設定は適正ですか？	能力設定を適正にセットする	－
流量が多い	流量の調節は適正ですか？	止水栓で流量を調節する	P.15
異音がる	ハンドルを急に開閉していませんか？	レバーハンドルの開閉時はゆっくり操作してください。	－
	流量の調節は適正ですか？	止水栓で流量を調節する	P.15
水が止まらない	整流口にゴミ等が付着していませんか？	ゴミ等を水で洗い流す	P.10
	上記処置で故障が直らない場合は、取扱店または LIXIL修理受付センターへご相談ください。		
ハンドルが右側に回らない	ハンドルの形状がエコハンドル仕様ではないか？	レバーハンドルを確認する。 エコハンドルはレバー操作範囲が従来シングルレバーと異なります。	P.7
希望の温度が得られない	ハンドルの形状がエコハンドル仕様ではないか？	レバーハンドルを確認する。 エコハンドルはレバー操作範囲が従来シングルレバーと異なります。	P.7
	整流口にゴミ等が付着していませんか？	整流口の掃除をする	P.10
	湯側・水側の止水栓は十分に開いていますか？	止水栓で流量を調節する	P.15
	給湯機器から十分なお湯がきていますか？	給湯機器の設定温度を確認する	－
	エコダイヤルが節水状態になっていませんか？(エコダイヤル付水栓の場合のみ)	エコダイヤルを通常吐水に設定する	P.7
	他所で同時に水栓を使用していませんか？	使用時には他所の水栓と同時に使用しないようにしてください。	－
	レバー湯側にし、しばらく水を流す。お湯を出してしばらく待ってもお湯が出ませんか？	節水仕様のため、冬場など配管内の冷えた水を排水するのに時間がかかり湯待ち時間が長く感じることがあります。	－
吐水口がスムーズに収納できない	シャワーホースを他部材が干渉していませんか？	シャワーホースのねじれ、吐出管の位置を調節し、シャワーホースと他部材が干渉しないようにしてください。	－

●希望の温度が得られないとき

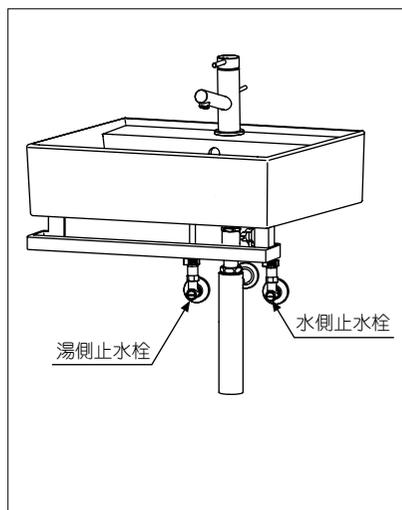
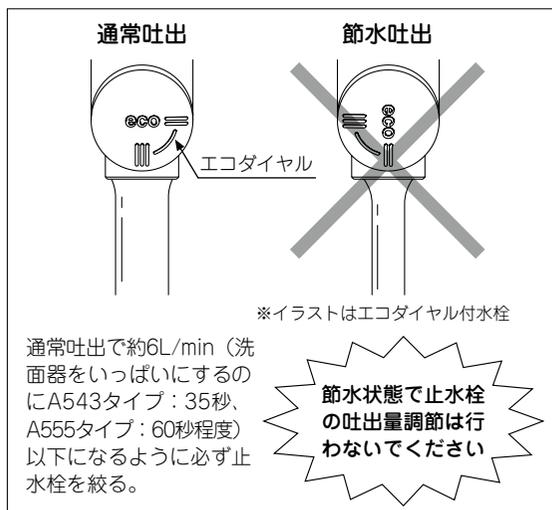
1. エコダイヤルが節水状態になっていないか確かめてください。
「エコダイヤルの操作 (P.7) 参照」(エコダイヤル付水栓の場合のみ)
2. 整流口のゴミ詰まりがないことを確かめてください。
「整流口の掃除 (P.10) 参照」
3. 給湯器から十分な温度のお湯がきていることを確かめてください。
4. 止水栓の開度が適正であることを確かめてください。
※吐出量が多すぎると、水はねや、節水吐出時にレバーハンドルでの吐出量調節がしにくくなる場合があります。
※エコハンドルの場合は、レバーハンドルが正面位置で水が出ます。
「温度の調節 (P.7) 参照」

●吐出量の調節 (エコダイヤル付水栓の場合のみ)

湯と水の吐出量が同じで、かつエコダイヤルが通常吐出のときに、湯、水各々が約6L/min (洗面器をいっぱいにするのにA543タイプ: 35秒、A555タイプ: 60秒程度) 以下になるように必ず止水栓を絞ってください。

※吐出量が多すぎると、水はねや、節水吐出時にレバーハンドルでの吐出量調節がしにくくなる場合があります。

※エコダイヤルはエコダイヤル付水栓の場合のみです。エコダイヤルなしの水栓は常に通常吐出の状態です。そのまま止水栓を絞って調整してください。



●アフターサービスについて

1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項（P.14）を参照して確認してください。

⚠ 注意

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



2. 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は**取付けの日から2年間**です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

- “技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号 | 2. 商品名 |
| 3. 品番（商品に表示、「各部の名称」の項(P.1)参照） | 4. ご購入日 |
| 5. 故障内容、異常の状況 | 6. 訪問ご希望日 |

4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店または

LIXIL修理受付センターまで（ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>）

TEL ☎0120-179-411 受付時間9:00～20:00 **365日受付**

FAX ☎0120-179-456

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは》

お客さま相談センターまで

TEL ☎0120-179-400 受付時間 平日 9:00～18:00

FAX ☎0120-179-430 土日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報の商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

MEMO

MEMO

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：サティス洗面器		(品番：)	
保証期間	取付日より2ヶ年	取付日	年 月 日
お客さま	おなまえ	無効	取扱店名
	おところ		
	おでんわ		() - TEL () -
お客さまへ ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。 ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。			

無料修理規定 (保証規定)

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
 - (1) 用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - (2) 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
 - (3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - (4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - (5) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - (6) 経年変化使用に伴う外観上の現象(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
 - (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
 - (8) 小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
 - (9) 天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障及び損傷
 - (10) 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - (11) 自然現象や環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - (12) 消耗品(パッキン、ヒューズ、電池等)類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
 - (13) 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷(※水道水とは、水道事業者が供給する上水をいう。)
 - (14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - (15) 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - (16) ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等)に起因する故障及び損傷などの不具合
 - (17) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - (18) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ヶ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00~20:00 (365日受付)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>

GAW-1065(19022)